

43 山形県奨励品種

| 品名 種名 (系統名) 親名 | 採用 年度 | 出穂 期月日 | 成熟 期月日 | 稈 長 cm | 穂 長 cm | 穂 数 本/m ² | 芒の 多少・ 長短 | 草 型 | 穂 発 芽 性 | 玄米 | | | 千粒 重 g | 品 質 | 食 味 |
|---|----------|-----------|-----------|--------------|--------------|----------------------------|-----------------|--------|------------------|-----------|--------|--------|--------------|--------|--------|
| | | | | | | | | | | 色沢・ 光沢 | 心 白 | 腹 白 | | | |
| [奨励品種] はえぬき (山形45号) 庄内29号×秋田31号 (あきたこまち) | 平成3年 | 8月2日 | 9月13日 | 70.3 | 17.3 | 541 | 中・中 | 中間 | 中 | 中飴・良 | — | 極少 | 22.3 | 上の上 | 上の中 |
| [奨励品種] つや姫 (山形97号) 山形70号×東北164号 | 平成20年 | 8月10日 | 9月23日 | 76.1 | 17.0 | 521 | 稀・短 | 中間 | 中 | 中飴・良 | — | 極少 | 22.2 | 上の上 | 上の中 |
| [優良品種] あきたこまち (秋田31号) コシヒカリ×奥羽292号 | 平成9年 | 7月26日 | 9月6日 | 81.7 | 18.0 | 487 | 少・短 | 偏穂数 | やや難 | 中飴・良 | — | 少 | 21.7 | 上の中 | 上の中 |
| [優良品種] ひとめぼれ (東北143号) コシヒカリ×初星 | 平成9年 | 8月3日 | 9月13日 | 80.4 | 18.4 | 546 | やや少・短 | 偏穂数 | 難 | 中飴・良 | — | 少 | 22.6 | 上の中 | 上の中 |
| [優良品種] 山形112号 山形80号×山形90号 | 平成27年 | 8月3日 | 9月13日 | 67.6 | 17.5 | 581 | 少・短 | 偏穂数 | やや難 | 中飴・良 | — | 極少 | 24.1 | 上の上 | 上の中 |
| [優良品種] 出羽きらり (山形100号) 山形75号×奥羽366号 (ちゅうひかり) | 平成21年 | 8月4日 | 9月14日 | 78.5 | 18.7 | 507 | 少・短 | 中間 | 中 | 中飴・良 | (少) | 中 | 24.5 | 上の下 | 上の中 |
| [優良品種] コシヒカリ (越南17号) 農林22号×農林1号 | 平成9年 | 8月10日 | 9月23日 | 93.8 | 17.8 | 506 | 少・短 | 偏穂重 | 難 | 濃飴・良 | — | 極少 | 21.9 | 上の中 | 上の中 |
| [認定品種] はなの舞い (庄内32号) 北陸99号×コシヒカリ | 昭和62年 | 7月24日 | 8月31日 | 85.2 | 18.4 | 452 | 少・短 | 偏穂重 | 難 | 淡飴・良 | — | 少 | 21.5 | 上の下 | 上の下 |
| [認定品種] どまんなか (山形35号) 中部42号×庄内29号 (イブキワセ) | 平成3年 | 7月29日 | 9月7日 | 76.9 | 18.7 | 524 | やや少・中 | 中間 | 中 | 淡飴・良 | — | 少 | 22.7 | 上の中 | 上の中 |

(水稻) 等の特性一覧表

| 諸抵抗性 | | | | | 生育の特徴 | | | 栽培上の留意点 | |
|------|------|------|-----|-----|-------|--------------------------------|----------------------------------|--|--|
| 葉いもち | 穂いもち | 白葉枯病 | 紋枯病 | 耐冷性 | 耐倒伏性 | 生育初期 | 生育中期 | | 生育後期 |
| 中 | 中 | やや弱 | — | 極強 | 強 | 移植～節間伸長始期まで | 節間伸長始期～穂孕期まで | 穂孕期～成熟期まで | 初期生育を確保し、適正な籾数確保に努めるとともに刈り遅れないよう注意する。 |
| 強 | 強 | やや強 | — | 中 | やや強 | 草丈は、やや短く、葉色はやや濃い。茎数はやや多い。 | 葉色は濃く、草丈は短い。 | 短稈で穂数がやや多く、初期登熟は緩慢である。 | 耐倒伏性に優れ、栽培しやすいものの、晩生種であるため、栽培可能な地域が限定される。施肥基準を守り、適正な籾数確保に努める。 |
| 中 | やや弱 | やや弱 | 強 | 中 | 中 | 草丈はやや長く、葉色は濃い。 | 葉色が濃く、その後草丈が伸長する傾向がある。 | 穂数が多くなると細粒化しやすく、倒伏を招くおそれがある。 | 割刈が発生しやすく、斑点米カメムシ類の被害を受けやすいので、適正な防除に努める。また、下葉枯れが多くなりやすいので、中干しや間断かん水に努める。 |
| やや弱 | 中 | やや弱 | — | 極強 | やや弱 | 草丈はササニシキ並で、葉色は濃く推移しやすい。 | 茎数はササニシキより少なく、葉色は濃く推移する。 | 稈長はササニシキ並でやや長く、穂数は少ない。一次枝梗籾割合が高く、登熟が早い。 | ササニシキより穂数、一穂籾数が少ないため、栽植密度や施肥に配慮し、籾数の確保に努める。 |
| やや強 | 強 | やや強 | — | やや強 | 強 | 草丈は「はえぬき」よりやや短く、茎数は多く、葉色はやや濃い。 | 草丈は短く、葉色はやや濃く、茎数は多い。 | 稈長は「はえぬき」よりやや短い、穂長は並で、穂数は多い。止葉が立ち、草姿は良い。 | 「はえぬき」より穂数は確保しやすいが、初期生育の促進に努める。また、多肥栽培は品質、食味を低下させるので行わない。 |
| 強 | 極強 | 中 | — | 強 | 中 | 草丈・茎数、葉色とも、はえぬき並である。 | 草丈はやや長く、茎数は、はえぬきよりやや多い。 | 稈長・穂長とも、はえぬきより長く、穂数は並で草姿が良い。 | 酒造用掛米に適する。醸造適性を低下させないため、また耐倒伏性は中であることから、多肥栽培は行わない。 |
| 弱 | 弱 | 強 | — | 極強 | 弱 | 草丈は伸びやすく、葉数が進みにくい。 | 茎数はササニシキより少なく、葉身が伸びやすく、葉色は比較的淡い。 | 長稈で稈質もやや柔であり、耐倒伏性は弱である。 | 晩生種のため、条件のよい平坦地での作付けに限る。生育量や籾数の増加は倒伏や登熟不良に結びつくため、施肥や栽植密度に留意する。 |
| やや強 | 中 | やや弱 | 中 | 極強 | 中 | 草丈は長く、茎数は少ない。 | 節間は長めで、やや長稈になりやすい。 | 葉身はやや長い、が枯上がりは少ない。 | 健苗の適期移植と保温的水管理によって生育促進を図り、早期に茎数を確保する。多肥栽培を避け、受光態勢を良くして登熟向上に努める。 |
| やや弱 | やや弱 | 中 | — | 中 | やや強 | 草丈はササニシキ並で、茎数はやや少ない。 | 生育量は中庸で受光態勢が優れる。 | 中稈で、粒着密度も中程度であることから登熟は早い。 | 草姿が良好であるが、いもち病に弱いので適期防除に努める。 |

| 品 種 名 (系統名) 両 親 名 | 採用 年度 | 出穂 期月日 | 成熟 期月日 | 稈 長 cm | 穂 長 cm | 穂 数 本/m ² | 芒の 多少・ 長短 | 草 型 | 穂 発 芽 性 | 玄 米 | | | | 食 味 | |
|---|-----------|-----------|-----------|--------------|--------------|----------------------------|-----------------|---------|------------------|---------------|--------|-------------|------------------|-------------|-------------|
| | | | | | | | | | | 色 沢・ 光沢 | 心 白 | 腹 白 | 千 粒 重 g | | 品 質 |
| [認定品種] サ サ ニ シ キ (東北78号) 奥羽224号×ササシグレ (ハツニシキ) | 昭和 39年 | 8月 1日 | 9月 12日 | 82.9 | 18.2 | 586 | 少・ 短 | 穂 数 | やや 易 | 淡 飴・ 良 | — | 多 く 中 | 21.1 | 上 の 下 | 上 の 中 |
| [認定品種] 山 形 95 号 山形59号×奥羽366号 (ちゅらひかり) | 平成 21年 | 8月 2日 | 9月 12日 | 81.9 | 19.2 | 533 | 少・ やや 短 | 中 間 | やや 難 | 中 飴・ 良 | — | 極 少 | 23.3 | 上 の 上 | 上 の 中 |
| [認定品種・低アミロース] 里 の ゆ き (山形84号) 庄1658×山形63号 | 平成 16年 | 7月 26日 | 9月 2日 | 61.8 | 17.3 | 494 | 稀・ 極短 | 中 間 | やや 難 | — | — | 少 | 22.2 | 中 の 上 | 上 の 下 |
| [優良品種・もち] ヒ メ ノ モ チ (奥羽糯277号) 大系227号×こがねもち | 昭和 47年 | 7月 26日 | 9月 3日 | 79.8 | 18.6 | 418 | 少・ 短 | 偏 穂重 | 易 | 乳 白・ 中 | — | — | 21.1 | 上 の 下 | 上 の 下 |
| [優良品種・もち] こ ゆ き も ち (山形糯87号) わたぼうし×山形糯55号 | 平成 18年 | 8月 2日 | 9月 13日 | 79.2 | 19.3 | 435 | 稀・ 極短 | 偏 穂重 | 易 | 乳 白・ 良 | — | — | 22.8 | 上 の 中 | 上 の 中 |
| [優良品種・もち] で わ の も ち (び系糯60号) び系38号×中新糯40号 | 昭和 41年 | 8月 5日 | 9月 16日 | 81.1 | 18.1 | 430 | 無 | 偏 穂重 | 易 | 乳 白・ 中 | — | — | 19.5 | 上 の 下 | 上 の 下 |
| [優良品種・酒米] 出 羽 燦 々 (山形酒49号) 美山錦×青系酒97号 (華吹雪) | 平成 7年 | 8月 1日 | 9月 11日 | 83.2 | 18.8 | 385 | 無 | 穂 重 | やや 難 | 中 飴・ 良 | 多 | 少 | 25.9 | 上 の 下 | — |
| [優良品種・酒米] 美 山 錦 (信放酒1号) たかね錦のγ線照射突然変異 | 昭和 63年 | 7月 29日 | 9月 9日 | 93.5 | 20.4 | 403 | 無 | 穂 重 | 難 | 中 飴・ 良 | 中 | 少 | 24.4 | 中 の 上 | — |
| [優良品種・酒米] 出 羽 の 里 (山形酒86号) 滋系酒56号×山形酒49号 (吟吹雪) (出羽燦々) | 平成 16年 | 8月 3日 | 9月 13日 | 77.7 | 19.3 | 466 | 稀・ 極短 | 偏 穂重 | やや 難 | 中 飴・ 良 | 極 多 | 極 少 | 26.2 | 上 の 中 | — |
| [優良品種・酒米] 雪 女 神 (山形酒104号) 庄酒2560×蔵の華 (出羽の里) | 平成 26年 | 7月 31日 | 9月 11日 | 80.7 | 19.9 | 500 | やや 少・ 中 | 偏 穂重 | やや 難 | 中 飴・ 良 | 多 | 少 | 26.7 | 上 の 下 | — |

※出穂期、成熟期、稈長、穂長、穂数、玄米千粒重は、農業総合研究センター水田農業試験場（鶴岡市藤島）でのデータ（H21～27の平均値）。

| 諸抵抗性 | | | | | 生育の特徴 | | | 栽培上の留意点 | |
|------|------|------|-----|-----|-------|----------------------------------|-------------------------------|------------------------------|---|
| 葉いもち | 穂いもち | 白葉枯病 | 紋枯病 | 耐冷性 | 耐倒伏性 | 生育初期 | 生育中期 | | 生育後期 |
| | | | | | | 移植～節間伸長始期まで | 節間伸長始期～穂孕期まで | | 穂孕期～成熟期まで |
| やや弱 | 弱 | 弱 | 中 | やや弱 | 弱 | 草丈は並で、分げつは発生しやすい。初期の低温で生育が遅れやすい。 | 葉身と節間が伸びやすい。 | 止葉が大きいと倒伏しやすく、登熟が悪くなる。 | 健苗を適期に移植するとともに少肥で受光態勢を良くし、いもち病に注意する。生育量が過大になると、倒伏しやすく、品質も低下するので生育調節を十分行う。 |
| 強 | 強 | 中 | — | 極強 | 中 | 草丈はササニシキ並で、茎数も並である。 | 草丈はやや長く、茎数は、はえぬき並である。 | 稈長・穂長とも、はえぬきより長く、穂数は並で草姿が良い。 | 良質・良食味米生産のため、適正な施肥に努める。特に、耐倒伏性が中であることから、多肥栽培は行わない。 |
| やや強 | 弱 | やや弱 | — | 極強 | 強 | 草丈はやや短く、茎数はやや少ない。葉色はやや濃い。 | 草丈は短く、茎数はやや多い。葉色はやや濃い。 | 稈長は短い。止葉が立ち、草姿が良い。 | 穂いもちのは場抵抗性が弱いので、移植時の箱施用剤使用など適期適正防除に努める。品質と食味特性を低下させないため、多肥栽培は行わない。 |
| 強 | 強 | 弱 | 強 | 中 | 中 | 草丈はやや長く、茎数は少ない。 | 葉身はやや長めだが、節間の伸びは並である。 | 登熟は比較的安定している。 | 白葉枯病に弱いので多発地帯には作付けしない。ふ先色が白で粳との識別性がないため、種子更新するなど粳と混入しないよう管理に努める。 |
| やや弱 | 強 | 中 | — | 強 | やや強 | 草丈はやや長く、茎数は少ない。 | 葉色はやや濃く、節間伸長は並である。 | 草姿は良く、登熟は早い。 | 倒伏には強いが穂発芽しやすいことから、適期刈取りに努める。 |
| 弱 | やや弱 | 弱 | 弱 | 弱 | やや弱 | 草丈はやや長く、茎数は少ない。 | 節間伸長は並である。 | 止葉が大きくなると草姿がやや乱れる。 | 葉いもち、穂いもちに弱いため、適期防除に努める。耐倒伏性は、やや弱いので、多肥栽培は避ける。 |
| やや弱 | やや弱 | 中 | — | やや強 | 中 | 草丈は長く、茎数は確保しにくい。 | 葉色はやや淡く、節間がやや伸びやすい。 | 美山錦より稈長はやや短い。 | 保温的水管理で分げつを促進する。千粒重を確保するため m ² 当たり粒数を多くしない。葉いもちに弱いので適期防除に努める。 |
| やや強 | 中 | 中 | — | やや強 | やや弱 | 草丈は長く、茎数は確保しにくい。 | 葉色やや淡く、節間が伸びやすい。 | 長稈で倒伏しやすい。 | 保温的水管理で分げつを促進する。倒伏しやすいので、生育調節を徹底する。千粒重を確保するため m ² 当たり粒数を多くしない。 |
| やや強 | やや強 | やや強 | — | 極強 | 中 | 草丈はやや短く、茎数は確保しやすい。 | 草丈はやや短く、茎数はやや多い。節間伸長は並である。 | 稈長は出羽燦々よりやや短く、草姿は良い。 | 醸造適性を低下させないため、多肥栽培を避ける。葉いもち、穂いもちのは場抵抗性が不十分なので適期防除に努める。 |
| やや弱 | やや強 | やや強 | — | 中 | 中 | 草丈はやや短く、茎数は確保しやすい。 | 草丈はやや短く、茎数はやや多い。節間伸長はやや伸びやすい。 | 稈長は出羽燦々よりやや短い。 | 醸造適性を低下させないため、また葉いもち圃場抵抗性が“やや弱”、耐冷性が“中”であるため、多肥栽培は避け、適正管理に努める。 |